

講義要項作成様式（講義用）

平成23年度 後期

大学院

授業科目 事業創発マネジメント応用研究

2 単位 担当教員 志村、村上、山田

I. 授業のテーマと目標

今世紀になって以降、日本経済の成熟化とあわせ、経済のグローバル化がますます進行し、新興国から追い上げられる一方、新興国の成長が新たな事業機会をもたらすなど、我が国の社会経済システムは大きな移行期の只中にある。また、世界的金融危機や東日本大震災を契機として、産業や企業経営の構造的転換が大きな論点となってきた。

本講義では、こうした社会の変革期にあって、様々な環境変化と呼応した新たなビジネス・システムの“創発”ということに焦点を当て、事例を交えた多角的な議論を行う中で、「事業創発」のマネジメントの実践へのガイドラインを提示する。

II. 教科書・参考書

III. 授業の内容の要旨と授業計画

<授業の概要>

1. 事業創発総論

新たなビジネス・システム変革を惹起する各種社会環境の変化を展望し、事業創発のプロセスを考察することによって、事業創発の概念整理と体系化を行う。さらに、こうした事業創発の中で、企業のマネジメントシステム設計における対応課題を提起する。

- ・問題の構図の見極め
- ・変革の道しるべの設定
- ・意思決定の演出
- ・実効性の担保

2. 構造変化と事業創発のイシュー（問題の構図の見極め）

現在進捗しつつある変化の中で事業創発に関わる要因がマネジメントやビジネスに及ぼす影響の本質的論点（イシュー）を掘り下げ、新たな事業システムの創発について展望する。

- ・社会環境変化の描出
- ・事業環境変化の洞察
- ・社内・組織の現状の見極め

3. 事業創発のマネジメント（変革の道しるべ）

今後の企業経営において、変化に適応するために必要となる事業創発プロセスのマネジメントについて、論点と重点となる実践方策を考察する。

- ・課題化とミッションの再定義
- ・社会システム・事業モデル構築
- ・再生戦略と経営システム設計

- ・変革のしくみ設計
- ・意思決定の演出
- ・実効性の担保

4. 事業創発総合演習

事業創発の観点から今後注目されるテーマを設定し（医療・福祉、金融、震災復興を予定）、①イシューの想定（問題の構図の見極め）②事業創発のマネジメント（変革の道しるべの設定）について演習を行う。

- ・オリエンテーションとテーマ選定
- ・テーマに対するイシューの想定
- ・想定されたイシューに対する討議、講評
- ・イシューの見直しと深掘り
- ・イシューに対するミッション及び事業モデルの再定義
- ・変革の戦略としくみ設計

<授業計画>

第一日

- 1-1. 事業創発総論
- 1-2. 構造変化と事業創発のイシュー（1）「3. 11後の環境変化を中心に」
- 1-3. 事業創発総合演習（オリエンテーションとテーマ選定）
- 1-4. 事業創発総合演習（テーマに対するイシューの想定）
- 1-5. 事業創発総合演習（テーマに対するイシューの想定）

第二日

- 2-1. 構造変化と事業創発のイシュー（2）「高齢社会の進展と医療・福祉分野を中心に」
- 2-2. 構造変化と事業創発のイシュー（3）「経済環境変化と金融を中心に」
- 2-3. 事業創発総合演習（想定されたイシューに対する討議、講評）
- 2-4. 事業創発総合演習（想定されたイシューに対する討議、講評）
- 2-5. 事業創発総合演習（イシューの見直しと深掘り）

第三日

- 3-1. 事業創発のマネジメント（1）
- 3-2. 事業創発のマネジメント（2）
- 3-3. 事業創発総合演習（イシューの見直しと深掘り）
- 3-4. 事業創発総合演習（イシューに対するミッション及び事業モデルの再定義）
- 3-5. 事業創発総合演習（変革の戦略としくみ設計）

IV.成績評価の方法

講義への出席率と演習や議論への参加状況に加え、期末テストの評価による。期末テストは、総合演習の内容と関連して提示する課題（イシューとして着眼する社会環境変化、事業創発の展

望、創発プロセスのマネジメント等) に対する小論文を採点し、評価する。

V. 学生へのメッセージ

今後の日本経済の成長には、少しでも多くの企業、行政、消費者が事業創発を理解し、実際にその事業に参加したり、新しいユーザーとして厳しく事業を選別したりすることが必要条件です。本講義は、参加者が近い将来に何らかの形で事業創発に関わる時の準備として位置付けられることを期待します。